

第1回公開授業研究会(白石町立有明中学校) 平成26年9月17日(水)6校時

指導者 教諭 洪田 美佳(研究委員)

◇単元名 中学校第2学年「産業の発達と幕府政治の働き」(東京書籍)

◇提案1 「意思決定を取り入れた討論型の学習」(単元の指導過程)

○提案のポイント

- ・ 「意思決定を取り入れた討論型の学習」とは、社会科における思考力・判断力・表現力の育成に重点を置いた単元の指導過程であり、単元を貫く学習問題I, IIで構成している。
- ・ 学期に1, 2単元の取組を想定している。
- ・ 児童生徒が、単元を通して社会的事象に対する自分の考えをもち(意思決定)、考えを深めていくことをねらっている。(図1参照)
- ・ 判断が分かれたり、社会的な価値が対立したりする社会的な問題を取り扱う。

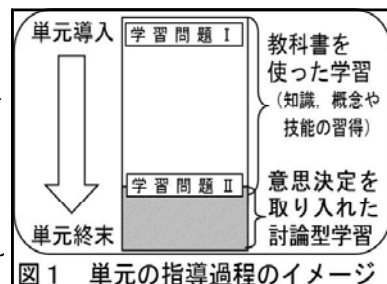


図1 単元の指導過程のイメージ

○単元計画 (全8時間 本時5/8)

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	時配
つかむ	○貨幣経済が進展した理由を調べ、町人の力が増していったことを理解する。	○農業や諸産業の発展に着目させ、教科書の内容や資料を基に考えさせる。	1
	○江戸幕府の財政が悪化した理由の追究のために学習問題Iをつくる。	○貨幣経済が進展した一方で、幕府の財政が悪化したことを伝え、学習問題Iへと導く。	
《学習問題I》			
調べる	○都市の繁栄と徳川綱吉の政治について調べる。	○都市が発達した理由や徳川綱吉の政治について、資料を基に調べさせ、その中から財政難へとつながる要因を探らせる。	1
	○徳川吉宗の政治改革と社会の変化について調べる。	○徳川吉宗の政治、百姓一揆や打ちこわしについて、資料を基に調べさせ、その中から財政難へとつながる要因を探らせる。	1
	○田沼意次の政治と松平定信の政治について調べる。	○田沼意次と松平定信の政治を比較し、目的や内容を視点に共通点と相違点を考えさせ、財政難の要因を探らせる。	1
考え	○既習内容を基に学習問題Iに対する考えをまとめ、「江戸幕府の財政難が続くこと」を社会的な問題として更に追究する学習問題IIをつくる。	○幕府が財政難になった要因を3つの観点からまとめ、その後の財政の立て直しのための政策の中から田沼、松平の政策を例にして比較させ、学習問題IIへ導く。	1 本時 (5/8)
	論題 田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しにより貢献したのはどちらか。《学習問題II》		
まとめる	○学習問題IIに対する自分の考えをもって討論会を行い、江戸幕府の財政の悪化について考える。	○既習内容や資料、他者の意見などを基に、学習問題IIを論題にして考えさせ、意思決定をさせる。	1
	○政治の動揺と社会の変化の中で発展した学問や文化の特色について調べる。	○学問の発達や文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考えさせる。	1
	○外国船接近に対する幕府の対応と水野忠邦の政治について調べ、江戸幕府の政治の変化について考える。	○外国船の接近や大塩の乱、天保の改革についての資料を基に、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考えさせる。	1

◇提案2 社会的な問題が明解になる手立て（討論の前段階における手立て）




○提案のポイント

- ・ 出合わせる社会的な問題は、「江戸幕府の財政難が続いていること」
- ・ 田沼、松平それぞれの政策を、幕府、民衆の立場からよい点(メリット)、問題点(デメリット)にワークシートと板書で整理し、どちらの改革にもよい点、問題点があることに気付かせる。
- ・ 「あなたなら、どうやって財政を立て直すか」、「どちらの改革が効果があったか」と問うことで、生徒の思考を促し、判断の違いから学習問題Ⅱを導き出し、討論型の学習へ誘う。

○本時の目標

幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を基に、学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しにより貢献したのはどちらか」について既習の知識や資料等や小集団での話し合いを通して、自分の意見を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)

○本時の展開(全8時間 本時5/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
<p>1 学習のめあてを確認する。(学級全体)</p> <div data-bbox="177 792 480 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>白河の清きに魚の住みかねて もとのにごりの田沼こひしき</p> <p>提示した狂歌</p> </div> <div data-bbox="496 770 687 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="161 965 528 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>田沼意次の政策が、白河(松平定信)の政策よりよかったということかな？</p> </div> <div data-bbox="724 864 1066 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>田沼意次の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株仲間の奨励 ・長崎貿易の活性化 ・印旛沼の開拓(新田開発) </div> <div data-bbox="1098 864 1442 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>松平定信の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰農令 ・農村に倉を設置 ・昌平坂学問所 ・人足寄場の設置 ・棄捐令 ・節約令 ・出版物の統制 </div> <div data-bbox="767 1010 1401 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>黒板に提示した田沼意次の政策と松平定信の政治</p> </div> <div data-bbox="188 1055 1406 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 田沼意次と松平定信の政治政策について考えよう。</p> </div>	<p>○田沼意次と松平定信の政治を比較した狂歌を紹介し、意味を考えさせた。これにより2人の政策、政治を比較することに対する関心を高め、めあてを提示した。</p>
<p>2 幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を既習内容を基に振り返り、学習問題Ⅰをまとめる。(学級全体)</p> <div data-bbox="193 1227 667 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題Ⅰ どうして江戸幕府の財政は悪化したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・① 徳川綱吉が行った政治から ・② 貨幣経済の広がりから ・③ 百姓一揆・打ちこわしがさかんになったことから </div> <p>学習問題Ⅰをまとめる3つの観点</p>	<p>○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢について、3つの観点から既習内容や資料を参考にまとめさせた。これにより、田沼、松平が政治政策を行った目的について明らかにした。</p> <div data-bbox="711 1339 938 1529" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="954 1279 1442 1529" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①徳川綱吉が、寺社の建造や明暦の大火後の江戸再建にお金を使ったから。また、鉱山の産出量が減り、貨幣の質を落としたから。 ②農民の貧富の差が広がってしまったから。また、商品作物を作るようになり、商人が力をもつようになったから。 ③自然災害で作物が育たなかったから。 </div>
<p>3 財政を立て直すために行った田沼意次と松平定信の政治政策を比較して考える。(小集団)</p> <div data-bbox="165 1675 683 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <p>小集団の調べ活動の様子</p>	<p>○学級全体で田沼意次の政策を「積極的な経済政策」、松平定信の政治を「緊縮財政、農村復興策」とまとめたことで、2つの改革に関わる立場として、民衆(農民や商人など)と幕府の立場があることを確認した。</p> <p>○財政の立て直しに効果があったかどうかを考えさせるために、民衆側と幕府側の視点から2つの改革のよい点(メリット)と問題点(デメリット)について小集団で調べさせ、整理させた。</p> <p>○小集団で整理した結果を板書に整理させることで、どちらの政治政策にも一長一短あることに気付かせた。</p>



小集団で調べたことを整理した板書

4 学級全体で調べたことを確認し、政治改革について深く知り、学習問題Ⅱを設定する。(学級全体)

社会的な問題

「幕府の財政難が続いていること」



論題 田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しにより貢献したのはどちらか。 《学習問題Ⅱ》

5 既習の知識や資料等を参考に自分の意思決定をワークシートに記述する。

【意思決定1】(個人)

○田沼意次と松平定信の政治のメリットとデメリットを民衆と幕府の立場で考えてみよう!

		民衆側		幕府側	
		メリット ()にはお名前を書こう	デメリット ()にはお名前を書こう	メリット ()にはお名前を書こう	デメリット ()にはお名前を書こう
民衆側	田沼意次	○	○	○	○
	松平定信	○	○	○	○
		○	○	○	○
		○	○	○	○
幕府側	田沼意次	○	○	○	○
	松平定信	○	○	○	○
		○	○	○	○
		○	○	○	○

板書と同じになるように工夫した生徒のワークシート

○民衆側、幕府側、両方のよい点(メリット)、問題点(デメリット)を踏まえた上で、最終的にはどちらも財政難を立て直すことはできず、幕府滅亡への一途をたどってしまうことを説明した。これにより、社会的な問題を明確にし、自分だったらどうやって財政を立て直すかを問い、問題の難しさに気付かせた。

○その後、それぞれの政治政策の目的に立ち戻らせ、どちらも少なからず効果はあったとの考えから、学習問題Ⅱを導き出した。

○本時の学習を終えた時点での意思決定を行わせ、生徒の判断の違いから討論することを告げた。【評価】

私は(松平定信)と思います。なぜなら2人の改革を話し合う中で、幕府は民衆側の人材を集めて幕府に米をばらばらに幕府にも民衆にも得がある。財政を立て直しに任せ、民衆は活用せざるを得ない。田沼はいろいろと政治ができた。松平は、農具や農具の改良により、民衆に働き、財政を立て直したから、です。また、資料(田沼政治への批判)にもあるように、民衆達への批判もあつたから、です。

生徒のワークシートの記述から

◇授業研究会の感想より

- ・ 意思決定は、社会の中で求められている力の1つだと思う。社会科の学習を通して、根拠を基に自分で判断し、自分の言葉で説明できる力を付ける必要がある。そのような思考力・判断力・表現力を養う方法として有効であると思う。
- ・ 生徒は、いきなり討論することはできない。学期に1, 2単元でも取り入れて、場数を踏ませながら社会的な見方や考え方を成長させていかなければならないと感じた。
- ・ 社会的事象の関連を整理し、葛藤を促す問いを行うことで、生徒の思考を促すことができることを改めて感じた。揺さ振りを掛ける問いの重要性を痛感した。
- ・ 板書やワークシートなどで考えさせる視点を絞ることができれば、問いは固まってしまうと思う。判断が分かれる問題の場合、それぞれの価値が生徒にとって分かりやすくなれば、揺さ振る発問の効果が高いと感じた。
- ・ 考える視点を絞ること、揺さ振る資料を用いること、生徒とのやり取りを行うことの3点が大変勉強になった。自分の授業をもう一度見直す切っ掛けとなった。